

遭難を報道する新聞

一名は絶望か

穂高遭難 三重大生ら三名 30.1.3

【鈴鹿筋】北ア前穂高東壁目ざし
て去月二十二日出発した岩稜会
(会長、鈴鹿市神戸河町、室敏也)

氏の会員十三名のうち遭難を伝
えられた三重大学芸学部三年沢田
栄介君(二)、鈴鹿市飯野寺家町、
同学部一年若山五郎君(二)、愛知
県海部郡佐織町、中央大学経済学
部石原国利君(三)、福岡県直方市
殿町一の三名の消息については四
日午後一時十五分同会顧問石岡繁
雄氏、同市神戸小山一方への電話
連絡によると東壁に雪穴を掘つて
吹雪を避けていた石原、沢田両君
を無事奥又白谷のテントに収容し
たが、登高中ザイルが切れて若山
君は谷間へ転落、行方不明になつ
ており絶望視されている。

1月3日付 中日新聞

一名は転落、絶望

北ア 三重大生ら二名救助 30.1.4

中日新聞

【鈴鹿筋】北ア前穂高東壁目ざし
て去月二十二日出発した岩稜会
(会長、鈴鹿市神戸河町、室敏也)

氏の会員十三名のうち遭難を伝
えられた三重大学芸学部三年沢田
栄介君(二)、鈴鹿市飯野寺家町、
同学部一年若山五郎君(二)、愛知
県海部郡佐織町、中央大学経済学
部石原国利君(三)、福岡県直方市
殿町一の三名の消息については四
日午後一時十五分同会顧問石岡繁
雄氏、同市神戸小山一方への電話
連絡によると東壁に雪穴を掘つて
吹雪を避けていた石原、沢田両君
を無事奥又白谷のテントに収容し
たが、登高中ザイルが切れて若山
君は谷間へ転落、行方不明になつ
ており絶望視されている。

1月4日付 中日新聞

三重大生が遭難か

1月4日付 中日新聞

奥穂高で 9-2

若山五郎君

【津島筋】愛知県海部郡佐織町見越、会社員、若山五郎君(二)、三

若山氏の話】これまで相当経験も
積んでおり、出発の時に三日
夜か四日朝に帰るといつていた
ので別に心配していなかった。
岩稜会のメンバーはいつも強行
軍で、アルプス方面も踏破して
おり、今度も堀川は長いがその
連中と一緒にいたので、安心して
いた。繁雄が四日朝現地へ着
くので、その連絡を待つて出かけたい。他の一行については何
も聞いていません。

重大学芸学部一年は、鈴鹿市岩
稜会のアルビニスト四名とともに
去る十二月二十二日北アルプス奥
穂高登山に出かけたが、三百夜岩
稜会会長の鈴鹿市神戸、石岡繁雄
氏(三)、若山繁氏の長男一から
若山氏方へ「五郎遭難らしい。
繁雄現地へ行く」との電報が届い
た。石岡氏は今度の奥穂高行には
都合で参加しなかつたが、連絡で
直ちに現地へ出かけた。

五郎君は津島高校時代から山好
きで同高校山岳部のキャプテン
をしていて。

若山氏の話】これまで相当経験も
積んでおり、出発の時に三日
夜か四日朝に帰るといつていた
ので別に心配していなかった。
岩稜会のメンバーはいつも強行
軍で、アルプス方面も踏破して
おり、今度も堀川は長いがその
連中と一緒にいたので、安心して
いた。繁雄が四日朝現地へ着
くので、その連絡を待つて出かけたい。他の一行については何
も聞いていません。

1月4日付 朝日新聞

〔鈴鹿〕三重県岩松会員リーダ石原一郎氏から二日午後一時ごろ同会顧問鈴鹿市神戸小山町、石岡繁雄氏方へ北ア前橋高東壁を征服中

一名死亡二名救助

右岡氏から上高地島々で石原山林沢田の西君を奥又白のテントに無事収容、若山君は途中ザイルが切れ落落し遭難、絶命したものとみて自下搜查しているとの電話があり、同日夕刻さざに同金谷中唐夷谷の火事が放火のもの見出せ

岩橋会一行三名は去月二十二日から石原君をリーダーに奥又白に登ほん、元日に石原、若山沢田の三君が北アの最難所といわれる東穂高の東壁に登ほんしての帰途余難したものである

一月五日付 伊勢新聞

名転落、二名凍傷

三重大生らザイル切れ絶望

新春の北ア前線高岳で、またも遭難事件があり、一名は行方不明、他の二名が負傷した。

ナイロン製ザイル』 再検討の必要あり

④因縁 ⑤奥又田角 \times 丘比 超難堪

堀田彌一氏（マナスル登山隊長）

1月5日付 信濃毎日新聞

1月6日付 信濃毎日新聞

天候回復待ち続行
三重からも捜索応援隊
を発送している。――



1月10日付 信濃毎日新聞

使わぬことが肝心
明原因見て

その瞬間、衝撃なし
クサビ作用には弱い?

ナイロンザイルはこうして切れた
30.1.10

三重岩縫会
異常難か

現在と違い、通信手段の電話に雑音が入り、縁質も悪く聞き取りにくかったので、細かい部分で間違いが多いのは致し方ない。